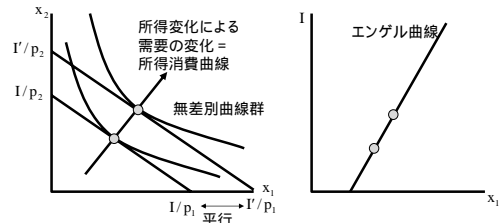


ミクロ経済学1

第4章 消費者行動と需要曲線

1. 所得の変化とエンゲル曲線(1)

- 所得が増加したら需要は増えるか?
- 効用最大化による需要決定(価格所与)



2

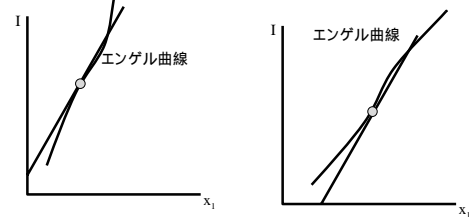
1. 所得の変化とエンゲル曲線(2)

- 上級財・正常財
 - 所得の増加と共に需要が増加する
 - エンゲル曲線が右上がり
- 需要の所得弾力性
 - $e_1 = \text{需要の変化率} / \text{所得の変化率} = (I/x) (\Delta x / \Delta I)$
 - エンゲル曲線の需要を示す点での接線が $I = ax + b$ とすると $e_1 = \{(ax + b)/x\} (1/a) = 1 + b/(ax)$ ($a > 0$)
 - $b > 0$ なら $e_1 > 1$ (需要は弾力的 奢侈品)
 - $b < 0$ なら $e_1 < 1$ (需要は非弾力的 必需品)

3

1. 所得の変化とエンゲル曲線(3)

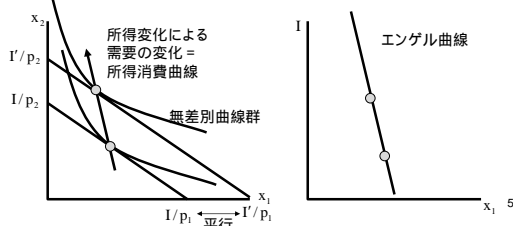
- 上級財でかつ弾力的 上級財で非弾力的
 奢侈品 必需品



4

1. 所得の変化とエンゲル曲線(4)

- 下級財
 - 第1財が下級財, 第2財は上級財
 - 所得の増加により第1財から第2財への代替がおきる(例: 所得の増加により麦から米へ)



5

1. 所得の変化とエンゲル曲線(5)

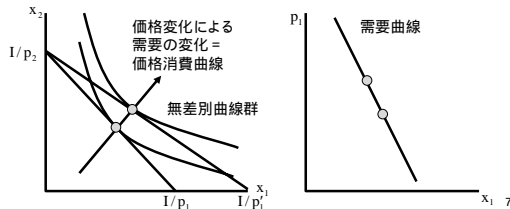
- 財の分類と需要の所得弾力性
 - 上級財
 - 奢侈品 $e_1 > 1$ 所得増加により支出比率増加
 - 必需品 $e_1 < 1$ 所得増加により支出比率減少
 - エンゲルの法則
 - 中立財 $e_1 = 0$ 所得増加により支出比率減少
 - 下級財 $e_1 < 0$ 所得増加により支出比率減少
 - 所得減少に関しては逆の動きを見せる
 - 所得弾力性 > 1 の場合所得の増加率以上にその財への支出が増えるので, 支出比率も増える

6

2. 価格の変化と需要曲線 (1)

• 価格の変化

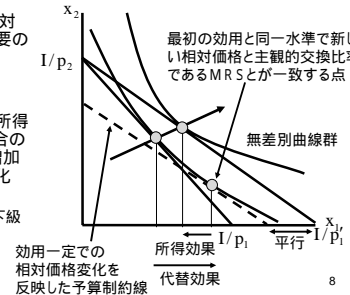
- 所得不変, 第2財の価格不変と考える
- 価格の下落により需要は増加する場合



2. 価格の変化と需要曲線 (2)

• 第1財の価格の下落の意味

- 効用一定の下での相対価格の下落による需要の変化
 - 代替効果
 - 必ず正
- 価格低下による実質所得の増加 (購買可能集合の拡大) に伴う効用の増加に対応した需要の変化
 - 所得効果
 - これが負のものが下級財



2. 価格の変化と需要曲線 (3)

• スルツキー分解

- 価格変化による需要の変化を代替効果と所得効果に分解する
- 総効果 = 代替効果 + 所得効果

価格が下がったときの需要の変化

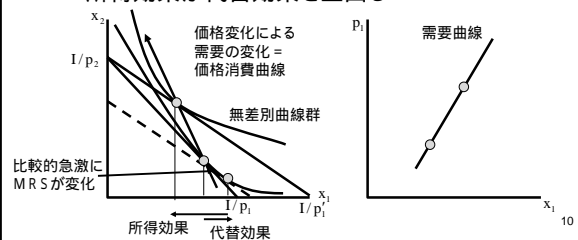
	Case 1 上級財	Case 2 下級財	Case 3 下級財	Case 4 下級財 ギッフェン財
代替効果	+	+	+	+
所得効果	+	(> - 代替効果)	(= - 代替効果)	(< - 代替効果)
総効果	+	+	0	-

9

3. 特殊な問題 (1)

• ギッフェン財

- 価格の下落により需要も下落する
- 所得効果が代替効果を上回る



10

3. 特殊な問題 (2)

• ギッフェン財の例

- ギッフェンのパラドックス

• 音楽

- アイルランド

- 土地がやせていて穀物が余りたれない
- しかもその穀物 (小麦) は英国地主にほとんど小作料とし納めさせられた
- 小麦を原料とするパンは高級品となる
- 主食はほぼジャガイモ

- ジャガイモ飢饉 (Potato Famine)

- ジャガイモの葉や茎に病原菌が発生する病気が発生
- 種子さえ無いので、小麦は依然として小作料となる
- 5年間で100万人が餓死、150万人から200万人が海外に流出
- 米国のアイルランド移民 (ケネディ、レーガン、クリントン、マクドナルド?)
- アイルランド人に強烈な反英感情を植え付けた 北アイルランド問題、IRA対UDA、英国軍

• 飢饉に際して

- 種子の食い尽くして、ジャガイモが枯渇し高騰 贅沢品購入に使用できる所得が減少
- 贅沢品のパンを切りつめてジャガイモをさらに買う (将来のジャガイモのさらなる高騰を考えると悪し、とくに、ジャガイモの購入が必要という側面も)
- 代替品のパンはかなりの高級品なのでパンを消費できるようになると効用が増加しMRSが急速に変化する。これにより代替効果は小さくなる
- 価格の上昇によってジャガイモ需要も増える。パンをより買わない

- 消費の選択肢の拡大 < 代替効果が大きくなる > と所得水準の上昇 < 下級財をあまり消費しなくなると消費する下級財の真の所得効果の低下 > の下ではギッフェン財は市場単位で観測されることはない
- 市場の需要曲線は右下がり < 需要の法則 >

11

3. 特殊な問題 (3)

• 粗代替財 < 総効果で判定 >

- 二つの財の間である財Aの価格が上がるともう一方の財Bの需要が増加する関係があるとき
- BはAに対して粗代替財であるとよぶ
- ウイスキーと焼酎...

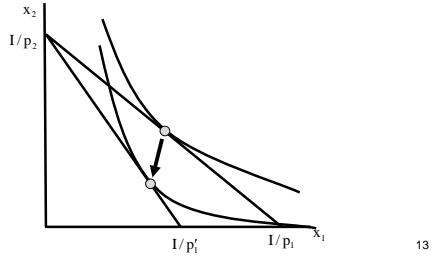
• 粗補完財 < 総効果で判定 >

- 二つの財の間である財Aの価格が上がるともう一方の財Bの需要が減少する関係があるとき
- BはAに対して粗補完財であるとよぶ
- 財Bの消費にもう一方の財Aの消費が連動する
- コーヒーと砂糖...

12

3. 特殊な問題(4)

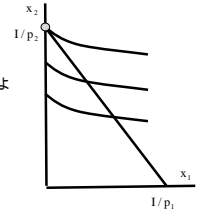
- 粗補完財の需要の決定
 - 第2財は第1財に対して粗補完財



13

3. 特殊な問題(5)

- 端点需要
 - 正または0の需要のみが許されると仮定
 - 無差別曲線の形状により予算制約線と接することができない場合
 - 無差別曲線上で $MRS_{12} > p_1/p_2$
 - 主観的な交換希望比率 = 限界代替率より第1財の相対価格が割安
 - 割安なもので所得を全部使う
 - 第2財の消費は0
 - 無差別曲線上で $MRS_{12} < p_1/p_2$
 - 第1財の消費は0



14